

スケールを覚えるコツを掴み完璧にマスターする講座 スリーノート・パー・ストリング編vol.12

さて、前回までで「エオリアンスケール」と、「アイオニアンスケール」の基本構造を、6&5弦トニックの両ポジションで確認しました。

なので今回から、残りのチャーチモードの内、マイナー系のスケール(≒モード)に属する、ドリアン、フリジアン、ロクリアンの3種のスケールとの違いを見ていきたいと思います。

基本的には、vol.08~09でやったメジャー系スケールの時と同じく、エオリアン(ナチュラルマイナー)を基本にして、そこから変わっていく部分を確認していきましょう。

という事で、まずはそれぞれのインターバルについてなのですが、以下の様になっています。

・エオリアンスケール

tonic、M2nd、m3rd、P4th、P5th、m6th、m7th

・ドリアンスケール

tonic、M2nd、m3rd、P4th、P5th、M6th、m7th

・フリジアンスケール

tonic、m2nd、m3rd、P4th、P5th、m6th、m7th

・ロクリアンスケール

tonic、m2nd、m3rd、P4th、 \flat 5th、m6th、m7th

それぞれ、色が変わっている部分が、エオリアンとの違いですね。

見ての通り、エオリアンに対して、ドリアンとフリジアンは1音違い、ロクリアンは2音違いです。

ただ、フリジアンとロクリアンは1音違いなので、ロクリアンだけは、

エオリアン→フリジアン→ロクリアン

の順で変化を見ていくとわかりやすくなります。

(※もちろん、エオリアンから直接、2音違いとしてロクリアンを見ても構いません)

それでは、実際に指板上で音の配置を見ていきましょう。

これまでと同じ様に、トニックはC音に固定し、まずは1オクターブ間で確認します。

※それぞれ、1ページのインターバルの色分けと一致させてあります。

※※各スケールで特徴となる音が、3npsスケールとして弾く範囲から出ている場合も、そのポジションの近くにあるものは表記しています。

図1、Cエオリアンスケール、3nps、6弦トニック、1オクターブ間

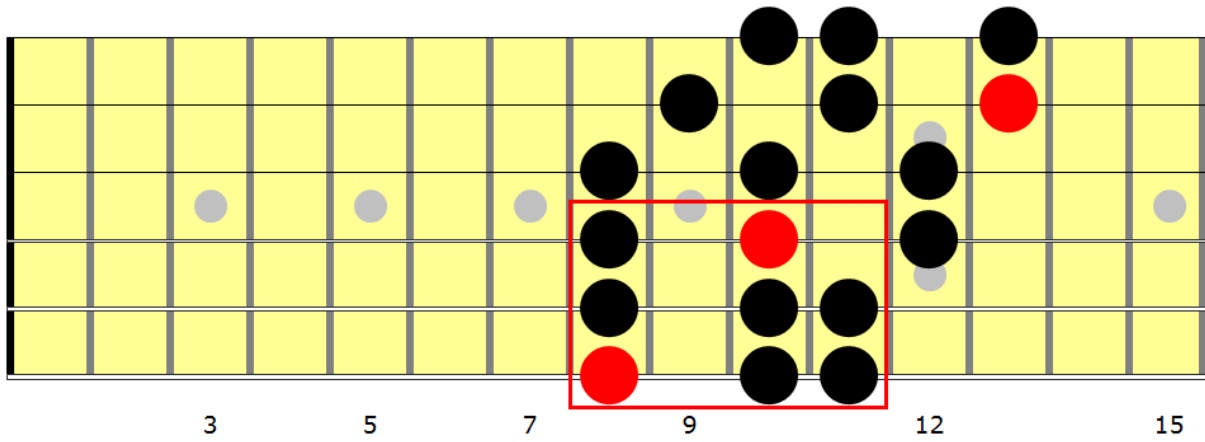


図2、Cドリアンスケール、3nps、6弦トニック、1オクターブ間

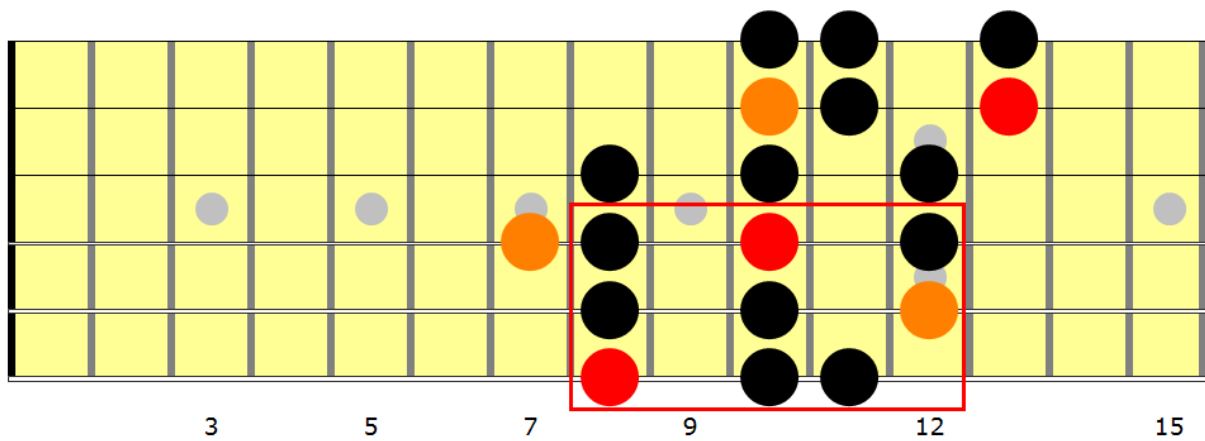


図3、Cフリジアンスケール、3nps、6弦トニック、1オクターブ間

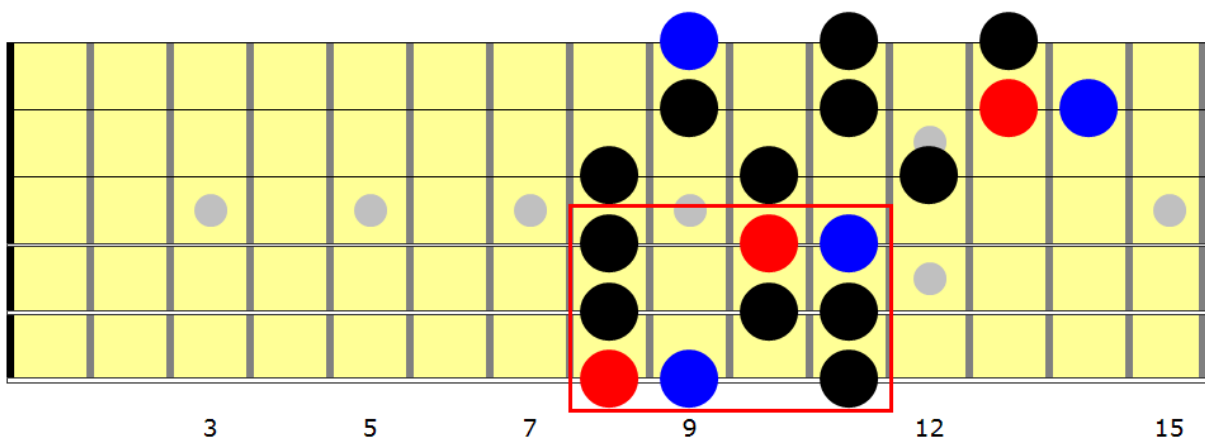
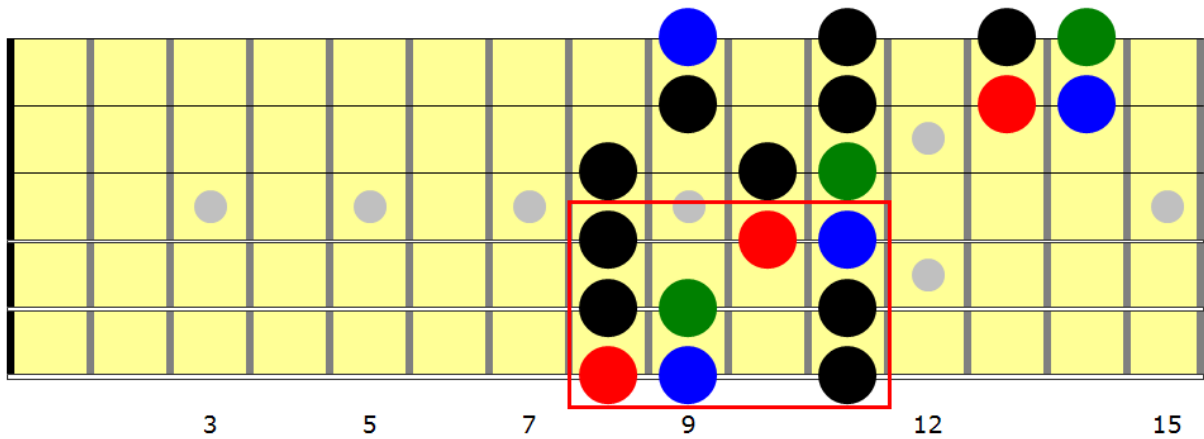


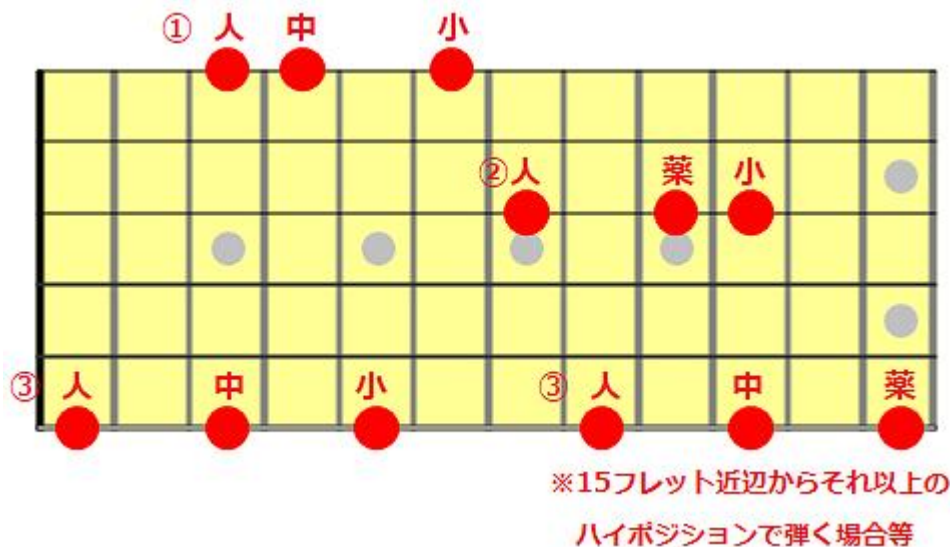
図4、Cロクリアンスケール、3nps、6弦トニック、1オクターブ間



という事で、まずは、トニックとする音(今の例ではC音)に人差し指を置いた時、この赤枠の範囲をインターバルの理解と共に弾き分けられるようにします。

(※単純な暗記と、手にポジションを覚えこませるトレーニングとしては、最初からポジション全てを弾き切る練習をしても構いません)

これまでと同じように、この図の指使いと一致させて覚えると、理解が深まるかと思います。



弾き方は、ストレートな上昇&下降や、3連符等への譜割の変更など、色々なパターンを試してみましょう。

続いて、同ポジション内で、1オクターブ上の4弦のトニックから見た音の配置とインターバルを確認しましょう。

※こちらも、前ページの指使い図と一致させるとわかりやすくなります。

※※6&4弦にトニックを見たポジションの場合、2弦上に最後のトニック(赤枠内)が来ますが、1弦上の音までを弾き切るパターンも練習しましょう。

図5、Cエオリアンスケール、3nps、4弦トニック、1オクターブ間

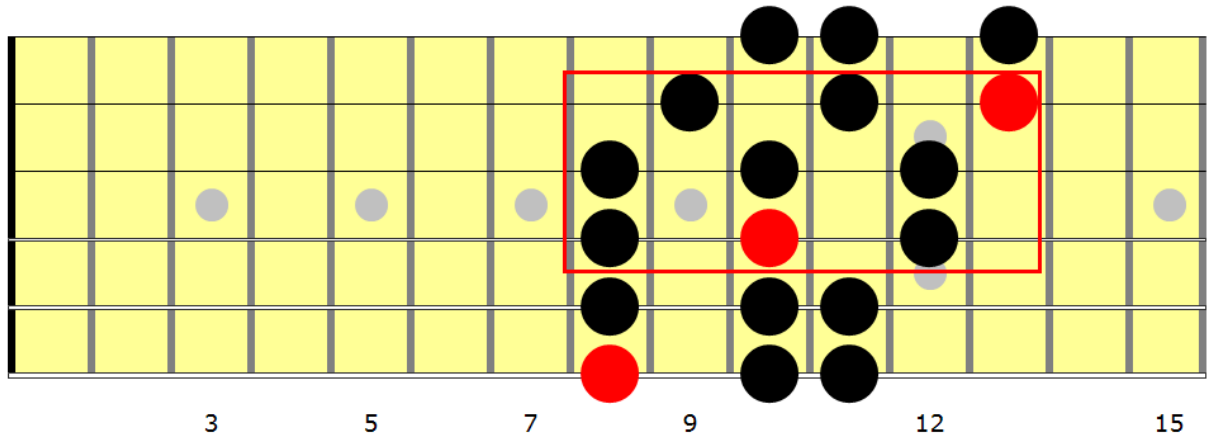


図6、Cドリアンスケール、3nps、4弦トニック、1オクターブ間

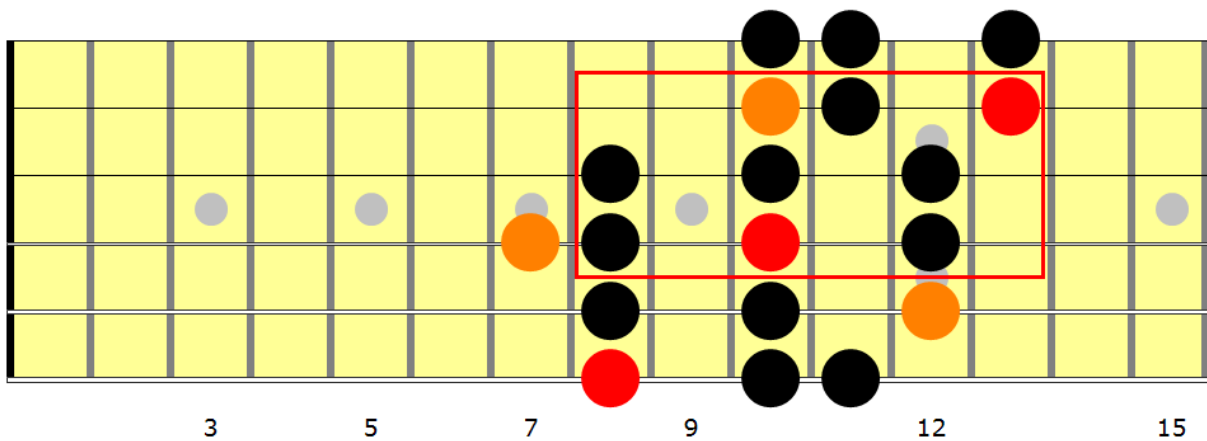


図7、Cフリジアンスケール、3nps、4弦トニック、1オクターブ間

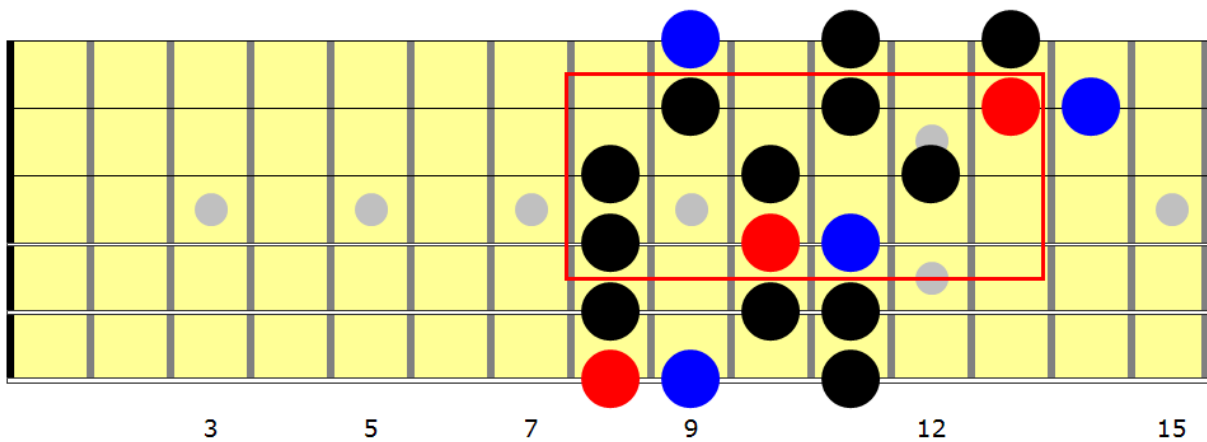
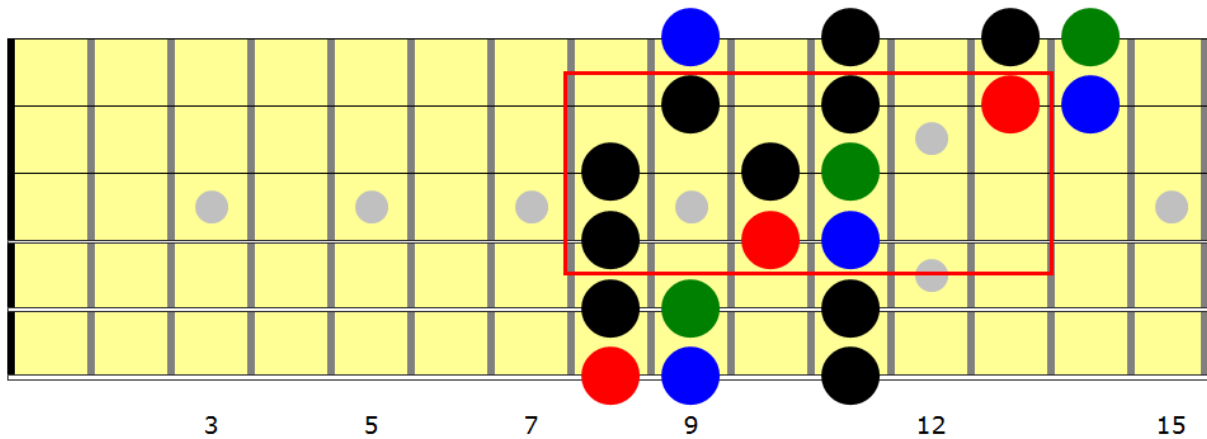
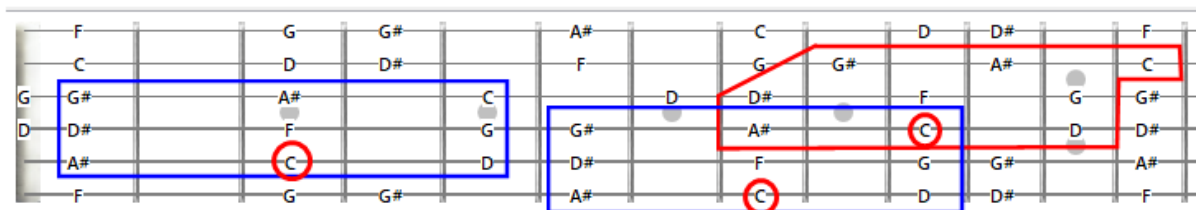


図8、Cロクリアンスケール、3nps、4弦トニック、1オクターブ間



こちらの4弦トニックから把握する方は、6弦トニックに比べて変化がわかりにくいと思いますが、この見方が出来ると、トニックにした音からギターヘッド側へインターバルを見る時の把握スピードが上がります。(※3npsのポジションは逆にボディ側に見ている)

図9、トニックから、ヘッド側寄りを見るインターバル



この様に、今このテキストで見ているのは赤枠の部分ですが、2~3弦間で1フレットずれる部分を調整すれば、どの弦にトニックを見ても、青枠の様に基本的な音の配置は同じになります。

これについては、慣れるまで少し時間が掛かるかと思いますが、押せらずにじっくりと取り組んでみてください

それでは、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼